

医療情報標準化指針提案申請書(新規)

申請受付番号	HS035	事務局受付日	2019/5/30 2020/1/31	申請日	2019年 5月 29日 2020年 1月 31日
提案申請団体名 ・責任者名	日本IHE協会・安藤 裕		規格作成団体名 ・責任者名	日本IHE協会・安藤 裕	
提案規格案名 (版数)	和名	医療放射線被ばく管理統合プロフィール			
	英名	Radiation Exposure Monitoring Integration Profile			
提案規格案の目的、概要(提案規格案策定経緯及び決定プロセス)	和文	<p>【規格の目的】患者の医療放射線被ばく管理が厚生労働省により義務化され、2020年4月1日より施行される。本提案はこれに対応して、現状で求めうる、医療放射線被ばくの代替値を記録、保存、閲覧する方策を提供する。画像診断に伴う放射線被ばく代替量の記録と保存を規定することを通じて、医療放射線被ばくの低減、画像診断実践の改善、放射線量の診断参考レベルの設定、集団線量に基づく疫学研究への利用などを振興して、医療の質の向上、公衆衛生の向上、放射性安全の向上に寄与することを目的としている。</p> <p>【概要】放射線量代替値を記載した標準化されたレポート(DICOM規格にて定義されている放射線量構造化レポート[RDSR])は診断装置等が生成する。生成されたRDSRはDICOM規格の通信で、施設内のレジストリや線量情報レポーターへ送信される。施設外への通信により、地域レベル、国レベルのレジストリに提出できる。本提案を使用することで、施設外のレジストリでのRDSR受信が統一化され、レジストリをデータ解析や利用するシステムの開発に集中させることができる。本提案はIHEインターナショナルが出版する放射線領域テクニカルフレームワークのRadiation Exposure Monitoring Integration Profile部分であり、他の部分と共に、IHEインターナショナルの手続きで維持管理される。</p>			
	英文	<p>Purpose: Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan will mandate radiation exposure of a patient during an imaging study to be recorded and stored from April 1, 2020. This integration profile provides means of recording, storing and reviewing standardized radiation dose report (Radiation Dose Structured Report [RDSR] defined by DICOM). The integration profile is intended to enhance healthcare quality, radiation protection, and public health through optimization of radiation exposure by exploring difference in the radiation dose, and by utilizing analytic results of registered RDSRs for diagnostic reference level, epidemiologic study and clinical trials.</p> <p>Data flow overview: Acquisition modality is required to generate and record RDSR by DICOM. RDSR is sent to Dose Information Reporter and Image Manager/Archive within a source medical institution by DICOM-defined transmission protocol. The RDSR is then submitted to Registry outside the originating institution. Use of this integration profile will make construction of registry easy, which enables IT engineers/specialists to concentrate more for developing analytical methods or usage methods. The integration profile is annually reviewed and maintained according to predefined process by IHE international.</p>			

関連他標準との関係(相違点及重複点の取り扱い方):
類似の規格はない。

提案規格案 の関連情報	メンテナンスの方法(バージョン管理も含む) 医療放射線被ばく管理統合プロフィールは所定の手続きによりIHE Internationalにより定期的に見直され、改訂があれば更新される。日本語概要文書は日本IHE協会にて更新され
	入手資格 : 特になし
	入手方法 : 本統合プロフィール文書は、下記のIHE International のウェブサイトから入手可能である。 https://www.ihe.net/resources/technical_frameworks/#radiology 本統合プロフィール(日本語概要文書)は、下記の日本IHE協会のウェブサイトから入手可能となる予定。 http://www.ihe-j.org/docs/index.html 本統合プロフィールが引用する DICOM Standard 文書は https://www.dicomstandard.org/current/ から入手可能である。
	有効期限 : 特になし
	価格等 : 無料。
	知的所有権: 本統合プロフィールの著作権は、IHEインターナショナルが所有している。また、日本語概要文書は日本IHE協会が所有している。 ただし、無償使用可能である。
添付資料: 医療放射線被ばく管理統合プロフィール(日本語概要文書)	
実務運用上の連絡者	・氏名 癸生川誠一郎 ・TEL 03-5840-9878 ・FAX 03-5840-9879 ・E-mail kebukawa@ihe-j.org

特記事項	
------	--

※更新・追加・廃止の時は、以下の一項を選択し、旧規格名(和名)を記載する。

指針の更新・改廃の場合の旧規格との関係	
更新時の新旧の相違点	

※申請した指針は、毎年5月末までに見直しをお願いします。

事務局から問い合わせが行きますので、必要に応じて更新などの手続きをお願いします。

(2009.05.19 改版)